

2023 年度春semester 3 回生演習(学部ゼミ)「専門演習 I / II」の履修申請について

大学院進学や日本国内での就職を考えている学生は、3 回生演習で専門学習(ゼミ)の準備を始めておくことを勧めます。内容はゼミによって異なりますが、最終的な目標は「深い学習と討論によりテーマについての理解や、卒業論文の作成にあたって必要な専門知識と手法の理解を深めること」です。また、3 回生までに蓄積した知識や技法を最大限に生かし、4 年間の学習の集大成となる卒業論文を執筆するためのゼミとして4回生演習を開講しています。4 回生演習では、学生自身がかつとも興味・関心のあるテーマについて1年間をかけて研究を行い、後半semesterで卒業論文を完成させます。

1. スケジュール

ゼミ(専門演習I/II)を履修するためには、実際に履修するsemesterのひとつ前のsemesterで申請を行う必要があります。

実施概要	実施期間
ゼミ情報・ ゼミクラス・シラバス発表	2022 年 11 月 2 日(水) 15:00～ ※ゼミ情報について、熟読し、十分に理解することを強くお勧めいたします
指導教員とのゼミ相談期間	2022 年 11 月 2 日(水)～12 月 14 日(水) ※各教員のシラバス内「ゼミ相談時間」の指示に従ってください。
申請期間	2022 年 11 月 30 日(水)～12 月 14 日(水) 16:30:00 (日本標準時) ※manaba を使ったオンライン申請です。 ※締め切り後の申請は一切受理しません。
申請結果発表	2023 年 1 月 25 日(水)
履修開始時期	2023 年 春semester

2. 対象

3 回生演習への新規申請が可能な学生は以下の通りです。

- ①現在演習を履修していない学生
- ②現在のsemesterとは異なる教員のゼミを次semesterに希望する学生

→新しいゼミに申請して下さい。別のゼミに新規申請した時点で、元のゼミはキャンセルしたとみなされます。

- ③現在留学中で、次semesterにAPUでの学修を再開予定の学生
- ④現在休学中で、次semesterに復学予定の学生

日本語基準学生(英語スタンダードトラック)が英語開講の3 回生・4 回生演習科目を履修する場合は、**申請時に英語中級 A・B の単位修得をしていることが必要です。**ただし、両言語開講(E/J)の演習科目を履修する場合や、復学・再入学により2011 年度カリキュラムに変更された学生は、この条件は当てはまりません。

※なお、以下の学生は、別の申請期間「2023年1月25日(水)～2月8日(水)」に申請する必要がありますのでご注意ください。

- ① 再入学予定
- ② 編転入生
- ③ RU、また海外からの交換留学生

***上記は 2023 年度春に再入学、編転入する学生のみを指します。2022 秋以前に再入学、編転入した学生は通常学生の扱いとなります。**

3. サブゼミ(3回生演習のみ該当) (22 春からの変更は黄色ハイライト)

各自の専門分野についてさらに深く学習する意欲のある学生については、下記条件を満たす場合のみ、1セメスターにつき2つのクラスで演習科目を受講することが許可されます。サブゼミは自学部だけでなく他学部のゼミも履修可能です。他学部のゼミをサブゼミとする場合、サブゼミのみ履修することが可能です。自学部のサブゼミのみを履修することは出来ません。万が一申請時にメインゼミを申請、もしくは履修しておらず、自学部のサブゼミのみ申請し合格した場合、合格したゼミはメインゼミとして履修登録されます。

〈サブゼミ履修条件〉

- ① サブゼミの担当教員が履修を認めていること
- ② メインゼミとサブゼミの時間割が重複しないこと

※時間割重複が明らかになった場合、サブゼミの受講は自動的に取り消されます。

〈申請方法〉

申請方法については、下記「5. 申請手順」を確認して下さい。

4. 注意事項

(1) 申請可能クラスについて

メインゼミでは、自学部で開講される3回生演習のクラスのみ履修することができます。他学部で開講される3回生演習クラスを履修するには、サブゼミとして履修申請を行ってください。また、ゼミクラスの中には、履修時に6セメスターの学生のみ申請可能なクラスが存在します。ゼミクラス一覧をよく確認し、申請してください。

(2) 成績・単位数等について

① 3・4 回生演習で修得した単位数の集計分野

3・4 回生演習は、セメスターごとに成績が付与されます。

- ・自学部で開講される3・4 回生演習で修得した単位→専門教育科目分野に集計されます
- ・サブゼミとして他学部開講の3 回生演習で修得した単位→「他学部/自由選択」科目分野に集計されます

② 日本語基準国内学生の卒業に必要な要件について

日本語基準国内学生は、卒業するために英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目を20単位以上修得する必要があります。両言語開講(E/J)の3・4 回生演習科目で修得した単位数は、英語開講科目として集計されませんので注意してください。

③ 学位記への分野名称記載について

(2017 年度カリキュラム学生)

国際経営学部の各学修分野に配置された科目から 12 単位以上修得した場合、履修した当該分野の名称が学位記へ記載されます。

アジア太平洋学部では、自身の登録した学習分野の必修科目を 2 単位以上、および当該学習分野の専門教育科目を 28 単位修得すると、当該学習分野の名称が学位記に記載されます。

国際経営学部学生、アジア太平洋学部学生ともに、自学部のどの分野の 3・4 回生演習を履修した場合でも、全ての学修分野に単位がカウントされます。なお、国際経営学部は 4 単位までが学修分野に含まれますが、それ以上は学修分野に含まれません。

(2011 年度カリキュラム学生)

国際経営学部学生が各学修分野に配置された科目、コア科目、演習科目から 30 単位以上修得した場合、学位記に当該分野名称が記載されます(「学部履修ハンドブック 172 ページ」参照)。どの分野の 3・4 回生演習科目を履修した場合でも、全ての学修分野に単位がカウントされます。なお、アジア太平洋学部については、演習科目の単位はいずれの学習分野にもカウントされません。

(3)ゼミの継続履修と、履修ゼミのキャンセル・変更について(22 春からの変更は黄色ハイライト)

一度ゼミ履修が許可されると、4 回生演習科目である「卒業論文(2011 年度カリキュラム学生・2017 年度カリキュラム APM 学生)・卒業研究Ⅱ(2017 年度カリキュラム APS 学生)」の単位を修得するまで、同一の教員のゼミ(メインゼミ)が自動で登録され続けます(ただし、留学・休学で一度ゼミを離れると、自動登録されません)。サブゼミは 6 セメスターまで自動登録されます。現在履修しているゼミの継続履修を希望しない場合は、履修登録期間(履修登録 A 期間、B 期間、修正期間 1)でゼミのキャンセルを自身で行ってください。また次セメスターに現在と異なるゼミの履修を希望する場合は、申請期間に希望するゼミに新規申請してください。別のゼミに新規申請した時点で、元のゼミはキャンセルしたとみなされ、申請したゼミに不合格の場合でも元のゼミは履修継続されません。ご注意ください。

メインゼミ・サブゼミを履修しており、メインゼミをキャンセルした場合、以下の調整が大学により行われます。

■サブゼミが自学部ゼミ

⇒サブゼミはメインゼミとしての履修に変更されます。

■サブゼミが他学部ゼミ

⇒サブゼミとして履修されます。

詳細はアカデミック・オフィスウェブサイトの「[3・4 回生演習](#)」のページを参照してください。ただし、「卒業論文(2011 年度カリキュラム学生・2017 年度カリキュラム APM 学生)・卒業研究Ⅱ(2017 年度カリキュラム APS 学生)」はキャンセルした次のセメスターにも在籍する場合、再度「卒業論文/卒業研究Ⅱ」が自動で登録されます。

(4)必修科目との時間割重複について

各学部の必修科目または言語必修科目と、専門演習の時間割が重複した場合、必修科目を優先し専門演習の履修は削除されます。

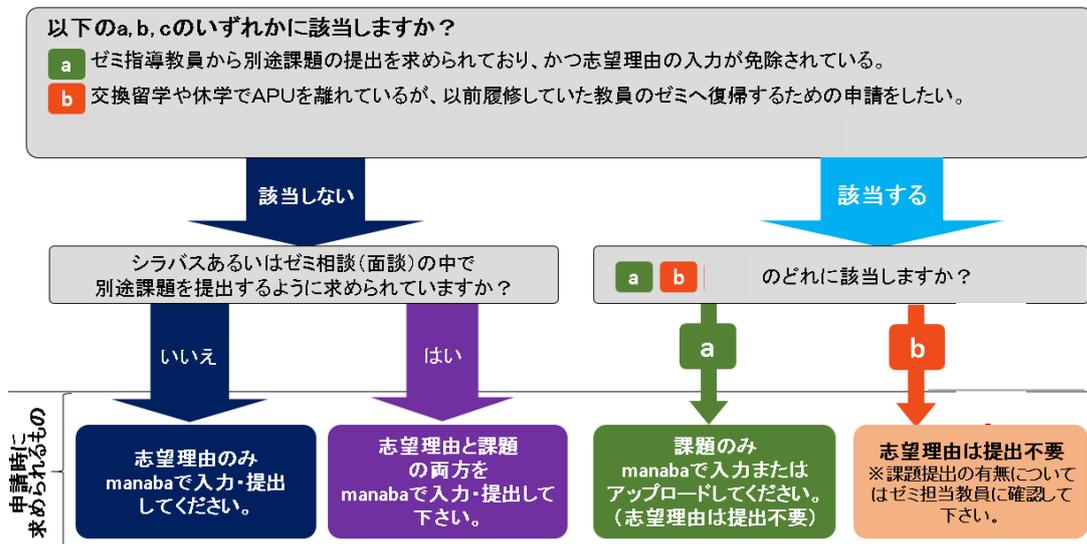
5. 申請手順

以下の手順に従って申請して下さい。

※サブゼミ履修を希望する場合も、下表と同じプロセスで申請しなければなりません。

手順	内容	日時・期間
1	アカデミック・オフィスウェブサイトの「 3・4 回生演習 」のページで応募可能なゼミクラスを確認 ※メインゼミは第2希望まで申請可能です	11/2～
2	シラバスを読み、履修を希望するゼミについて研究 ※指導教員との面談方法に関する情報が記載されていますので必ず確認して下さい。 ※志望理由や課題についての情報が記載されている場合がありますので、必ず確認して下さい。	
3	指導教員との面談を実施 ※サブゼミの履修申請を行う場合もこの段階で面談を行う必要があります。	11/2～ 12/14
4	下記「5. manaba での志望理由／課題提出」に向けて提出準備を進める。 ※志望理由または課題に対する回答を manaba に直接入力できる期間は 11/30～12/14 の間です。 それまでの間は、各自でワードファイルやテキストファイルなどを使って準備を進めてください。 ※志望理由や課題提出の必要の有無については下図1で確認して下さい。 ※サブゼミ履修を申請する場合も、ここで提出準備を進めて下さい。	
5	manaba で志望理由・課題を入力・提出する。 ※入力・提出方法については、「 3・4 回生演習 」のページで確認して下さい。 ※サブゼミ履修を申請する場合も、ここで提出してください。	11/3～ 12/14

図1 志望理由(エッセイ)または課題提出の有無の確認方法



¶留学中、休学中の学生は…

留学・休学から復帰後にゼミの履修を希望する場合も、必ず上記の手順に従って新規申請して下さい。ただし手順3については、直接面談を受けることが難しいため、メールや ZOOM などを利用して履修相談を受けてください。詳細は[アカデミック・オフィスウェブサイトの「3・4 回生演習」のページ](#)を参照してください。

¶交換留学を希望している学生は・・・

交換留学とゼミを同時に並行することは出来ません。いずれか一方を選んでください。次セメスターから交換留学へ行くことを希望しているが、仮に希望が叶わなかった場合にゼミを履修しようと考えている学生は、上記スケジュールおよび手順に従って申請を行ってください。詳細は[アカデミック・オフィスウェブサイトの「3・4回生演習」のページ](#)を参照してください。

¶転籍を予定している学生は・・・

転籍後の学部で開講されるゼミへ申請することが出来ます。スケジュールおよび申請手順は上記と同じですが、申請期間に、必ずアカデミック・オフィスに相談してください。なお、同申請期間は、転籍手続きよりも前に設定されていますので、転籍が許可されなかった場合に備え、現在所属している学部のゼミへも同時に申請しておくことを薦めます。詳細は[アカデミック・オフィスウェブサイトの「3・4回生演習」のページ](#)を参照してください。

¶早期卒業プログラムの学生は・・・

上記スケジュールおよび手順に従って申請してください。なお、同プログラムの学生は、3回生・4回生演習科目の履修時期が通常学生と異なりますので、事前面談時に教員とよく相談し、十分な履修計画を立てた上で申請を行ってください。履修時期等の詳細は、[アカデミック・オフィスウェブサイトの「3・4回生演習」のページ](#)を参照してください。

参考:3回生・4回生演習の申請時期と履修科目 ※詳細は、学部履修ハンドブックを参照してください。



以上

アカデミック・オフィス 学部演習担当 Email: seminar1@apu.ac.jp